

Text/Atsushi TAMADA CG/Kenta KITAGAWA (ldk) , Soma YOKOI



デイトナが提案する
新しい建築のカタチ



Monthly Theme

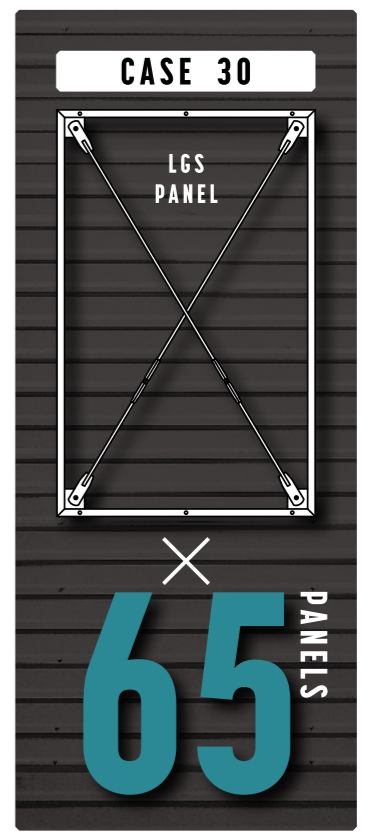
美しい湖畔に建つ 男達のモーターサロン

ひとつのテーマを共有し、大自然の中に仲間と築く
コーポラティブなモーターサロンの実際例。

明確なテーマを設定して、複数のメンバーが共同で資金を出し合い作る建築のプロセスを、コーポラティブと呼び、主にマンションを建てる際にこの手法が用いられます。コーポラティブマンションの場合は、初めから居住するメンバーが決まっているので、モデルルームを造ったり、多額の広告費をかける必要がない。したがって、その分の予算を建築の充実に向けられる。これがメリッ

トであると言われていきます。しかし、区分所有という換金可能な価値が強調されるため、マンション内の場所取りなど、居住者間での調整が難しい側面もあります。今回は、そのような世知辛い事情を取っ払い、オーナー同士が理想のライフスタイルを共有できる、格納庫&モーターサロンの実際例をご紹介します。

富士山が湖畔に映るこの建物は3人のメンバーそれぞれのガレージと、メンバーがくつろぐサロン空間によって構成されています。左側に2段駐車ガレージがあり、右側には2名分の平置きガレージが位置します。クルマ好き、バイク好きというシニブルで深みのあるテーマが、コーポラティブという難しいプロセスを可能にしているのです。所有や損得勘定という要素が顔を出さない、コンセプトチャルな世界が現出するのは。



What's DAYTONA HOUSE ?

デイトナハウスを構成するのは、LGSと呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「Cチャンネル」と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGS パネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGS パネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分りやすさと、パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。

www.daytona-house.com

● INFORMATION
LDKinc.
代表: 玉田 敦士
www.ldk.co.jp
03-6228-4933

デイトナをはじめ、カーマガジンでの長期連載、ムック本である CAR&HOME にて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデュース会社 LDK inc. 建築設計はもちろんのこと、建築システムの開発や商品開発も行う。



三角屋根の空間ボリューム全体を利用しようとする左側の2段式ガレージ。修理、メンテナンス、レストアなど様々な用途に活用可能な大空間。シャッターを冷凍倉庫などに利用する断熱仕様であれば、オール外断熱の更に居住性の高いガレージが構築できます。これなら冬場でも安心です。

Garage

建物の中心にレイアウトされたサロン内部。ウッディーな天井の温かみが、無機質なガレージ空間との対比を演出。コンドミニアム形式でルールを設定しているの、いつでも利用できる気の置けない場所となっています。まさに人生のテーマがはっきりしている大人の空間です。

Salon

日本列島の風光明媚な場所は、概ね国定公園に指定されています。国定公園では「景観条例」という法律により、なぜか三角屋根（切妻）が要求されるのです。今回は全体を包含する大屋根を設定して、ありきたりなデザインとレイアウトにならない工夫をしています。

FLOOR PLAN

